

CASBEE[®] あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BC_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)豊田市陣中町二丁目 計画(本棟)	階数	地上14階
建設地	愛知県豊田市陣中町二丁目19番6他	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	680 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2028年10月 予定	評価の実施日	2026年1月27日
敷地面積	6,496 m ²	作成者	坂本 麻人
建築面積	1,241 m ²	確認日	2026年1月27日
延床面積	13,025 m ²	確認者	安田 斉嗣



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Q のスコア = 3.2</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>4.8</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>2.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>53.8 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.2</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材・外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮
 ②資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
 ③敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
 (仮称)豊田市陣中町二丁目計画(本棟)

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
	重点項目									
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル		0.1	3.0	0.15	3.1	3.1	1.00			3.1
1.2 遮音		3.0	3.0	0.50		3.0	0.50			
1 開口部遮音性能		0.5	3.0	0.50		3.3	0.50			
2 界壁遮音性能	界壁遮音性能はDr-50以上	-	3.0	1.00		3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	3.0	-		4.0	0.30			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	3.0	-		3.0	0.20			
1.3 吸音		-	3.0	-		3.0	-			
2 温熱環境										
2.1 室温制御		0.3	2.0	0.35	4.0	4.0	1.00			3.8
2.1 室温制御		0.5	3.0	0.50	4.0	4.0	1.00			
1 室温	断熱等性能等級5取得予定	3.0	3.0	0.63		-	-			
2 外皮性能		3.0	3.0	0.38		4.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		3.0	3.0	-		-	-			
2.2 湿度制御		3.0	1.0	0.20		-	-			
2.3 空調方式		3.0	1.0	0.30		-	-			
3 光・視環境										
3.1 昼光利用		0.2	2.6	0.25	2.7	2.7	1.00			2.7
3.1 昼光利用		0.3	1.8	0.30	2.5	2.5	0.50			
1 昼光率		3.0	1.0	0.60		2.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	-		3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	3.0	0.40		3.0	0.20			
3.2 グレア対策		0.3	3.0	0.30	3.0	3.0	0.50			
1 昼光制御		5.0	3.0	1.00		3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	3.0	0.15		-	-			
3.4 照明制御		3.0	3.0	0.25		-	-			
4 空気質環境										
4.1 発生源対策		0.2	3.6	0.25	3.6	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策		0.6	4.0	0.60	4.0	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	JIS規格F☆☆☆☆をほぼ全面的に使用	good	4.0	1.00		4.0	1.00			
4.2 換気		0.4	3.0	0.40	3.0	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	3.0	0.50		3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	3.0	-		3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	3.0	0.50		3.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-		-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	3.0	-		-	-			
2 喫煙の制御		3.0	3.0	-		-	-			
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ		0.4	3.0	0.40	3.8	3.8	1.00			3.7
1.1 機能性・使いやすさ		0.4	3.0	0.40	5.0	5.0	0.60			
1 広さ・収納性	最大通信速度1Gbp以上のサービスに対応した設備を構築	3.0	3.0	-		3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	3.0	-		5.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	3.0	1.00		-	-			
1.2 心理性・快適性		0.3	3.0	0.30	2.0	2.0	0.40			
1.2 心理性・快適性		3.0	3.0	-		3.0	0.50			
1 広さ感・景観(天井高)		3.0	3.0	-		-	-			
2 リフレッシュスペース		3.0	3.0	-		1.0	0.50			
3 内装計画		3.0	3.0	1.00		-	-			
1.3 維持管理		0.3	3.0	0.30		-	-			
1 維持管理に配慮した設計	外壁に防水性の高い仕上げを採用	3.0	3.0	0.50		-	-			
2 維持管理用機能の確保		-	3.0	0.50		-	-			
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震・制震・制振		0.2	3.0	0.31		-	-			3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		0.4	3.0	0.48		-	-			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	3.0	0.80		-	-			
2 免震・制震・制振性能		3.0	3.0	0.20		-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		0.3	3.3	0.33		-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		-	5.0	0.23		-	-			
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3	-	2.0	0.23		-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		-	3.0	0.09		-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-	3.0	0.08		-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	5.0	0.15		-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	VP、PEP	-	2.0	0.23		-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		-	2.0	0.23		-	-			
2.4 信頼性		0.1	2.6	0.19		-	-			
2.4 信頼性		3.0	3.0	0.20		-	-			
1 空調・換気設備		3.0	1.0	0.20		-	-			
2 給排水・衛生設備		3.0	3.0	0.20		-	-			
3 電気設備		3.0	3.0	0.20		-	-			
4 機械・配管支持方法		3.0	3.0	0.20		-	-			
5 通信・情報設備		3.0	3.0	0.20		-	-			

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(仮称)豊田市陣中町三丁目 計画(本棟)

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.8	0.10	
② 資源の有効活用				3.2
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:53.8%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)豊田市陣中町二丁目 計画(本棟)

計画上の配慮事項	
総合	有害性が低く、耐用性に優れた建材を用いる計画とし、温熱環境や省エネルギー性に配慮することで、長期的に有効な住環境を得られるよう努めた。
Q1 室内環境	室内環境の向上をめざし、F☆☆☆☆建材を使用した。
Q2 サービス性能	共用部分に、耐用性に配慮した配管仕様、躯体材料を用いる計画とした。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内に緑地を配置することで敷地内温熱環境の低減に努めた。
LR1 エネルギー	各住戸が外皮に二方向面するよう計画することで有効な換気・通風を確保した。
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない建材を使用して室内環境の向上に努めた。
LR3 敷地外環境	LCCO2の排出量を低くするよう努め、地球温暖化に配慮した。
その他	